

TCPトリビンスプランの全体像

【具体的な施策の概要】

資料No. 3

(1) 子どもの「確かな学力」を保障する環境づくり

ア 授業日の平準化

- ・授業日数基本220日(平成32年度完全実施) ⇒ 移行期間の取組及び車座対話を踏まえ、学校と今後さらに検討

イ 快適な学習環境の整備

- ・全小中学校エアコン完備
- ・トイレ改修(洋式化)
- ・教室照明のLED化

ウ 外国語・国際理解教育の推進

エ 「確かな学力」の育成を軸とした幼保・小中一貫教育の推進

オ 調査結果に基づいた授業実践

カ 補充学習・発展学習の充実 (サマースクールの実施を含む)

キ 個に応じた支援の充実

- (特別支援、外国人児童生徒への指導の充実を含む)

ク ICT教育の推進

- ・児童生徒用ICT機器の整備
- ・プログラミング教育の充実

(2) 教職員が授業に専念できる環境づくり(教職員の日々の多忙解消)

ア 教職員の勤務時間の適正化

- ・授業日数基本220日(平成32年度完全実施)
- ・授業4時間日の設定
⇒ 移行期間の取組及び車座対話を踏まえ、学校と今後さらに検討
- ・学校閉庁日の設定

イ 校務の支援

- ・学校事務の効率化(職員室のオフィス化を含む)
- ・校務アシスタントの配置
- ・部活動、課外活動の指導員配置

ウ 教職員の研修体制の充実

- ・町全教職員研修会の実施

エ ICT環境の充実

- ・職員室及び教室のICT機器の整備

(3) 保護者(家庭)の教育ニーズに応じた環境づくり

ア 安心で安全な教育環境の整備

- ・授業日数基本220日(平成32年度完全実施) ⇒ 移行期間の取組及び車座対話を踏まえ、学校と今後さらに検討
- ・学校給食の実施日の拡張
- ・「家庭と連携した学習習慣の確立の手引き」の配布

イ 放課後の子どもの居場所づくり

- ・公設学習塾の実施
- ・放課後補充学習の実施
- ・活動場所確保、見守り委員の配置(放課後児童クラブの拡充を含む)

ウ 問題行動のない落ち着いた教育環境の実現(相談体制の充実)

- ・生徒指導体制の充実専任教員の配置
- ・SC、SSW、相談員の各校配置